

折り好く原裡より出て来りやが... 観法は澤村主従の姿... 見受けるに其の童顔に悲しき姿を想ひ起す...

或る日の澤村勝爲

八幡 秋月

「殿の命に依つて郡内一巡... 今日この當り来て来た民百... 左様で御座りますか...」

愚庵遺稿 (八)

島田忠夫 録

「旅中味月前旅情... 旅路はうきことしげし夏草の深くも物をおもふ...」

艶女長兵衛

東京 斯波南史 (魚崎潮畫)

「側で聴いて居たお三は... 一時顔の色を變へた... 夫れが爲め根柢へ日参して...」



求人五十八名の立派な事だ、宿にも出掛けありませんか、一人に三人... 開拓、掛りも大が好いと勧めたのだがね掛りなら吃とやります、然... 製法だつたが偉段々開けばコップ留さんが尻うな親分...」



ラジオ

「詩人は最高の品性の権化なり... 此の世間の驚くべき愛す可きを知らしむる...」

「安齋外科醫院... 皮膚科、泌尿科、外科、内科...」

「共濟會... 診察科目、治療科目、入院料...」

「貸切御用命... イツテモ眞先(松崎)...」

「藤田女學校展覧會とバザー... 十月三十一日(午後一時より四時迄)...」

「セダン揃ひで! 昭和タクシーへ...」

「東北ヒヨケの元祖... 防水布製 ヒヨケ、テント...」

「西村屋薬店... 平二 西村屋薬店...」

